

令和4年度（2022年度）第10回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和4年（2022年）12月12日（月）10時00分～11時00分

場 所：熊本県立大学 本部棟2階 大会議室

出席：学長	堤 裕昭
副学長	鈴木 元
事務局長	倉光 麻里子
文学部長	村尾 治彦（リモート参加）
環境共生学部長	石橋 康弘（リモート参加）
総合管理学部長	澤田 道夫（リモート参加）
共通教育センター長	山田 俊（リモート参加）
地域・研究連携センター長	柴田 祐（リモート参加）
デジタルイノベーション推進センター長	飯村 伊智郎（リモート参加）
国際教育交流センター長	レイヴィン リチャード （リモート参加）
学校法人 九州ルーテル学院 院長	内村 公春
株式会社 熊本日日新聞社 調査役	松下 純一郎

監 事：弁護士 本田 悟士

欠 席：熊本県公立高等学校長会 会長 牛田 卓也
監事 公認会計士・税理士 吉川 榮一

事務局：川元事務局次長、二宮総務課長、三隅教務入試課長、山村教務入試課入試班長、尾方教務入試課教務班長

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 令和5年度（2022年度）特別選抜における合格者決定について

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「特別選抜として学校推薦型選抜ほかの試験を実施し、各学部の教授会で可否の判定を行ったので、ご審議をお願いする。試験は帰国子女選抜以外、当日実施予定のすべての選抜で応募があり、12月4日に実施し、全員で159名、昨年度と比較して14名の増。試験の内容は小論文、総合問題、面接等の組み合わせで行ったもの。詳細については別紙をご覧ください。ご審議の後、本日午後1時30分からの合格発表を予定している。」との説明があった。

1) 学校推薦型選抜

文学部長から、「日本語日本文学科は、募集人員5名に対し、志願者16名。小論文と面接を実施。上位5名を合格としたい。英語英米文学科は、募集人員7名に対し、志願者8名。小論文と面接を実施。上位7名を合格としたい。」との説明があった。

環境共生学部長から、「環境資源学専攻は、募集人員3名に対し、志願者9名。小論文と面接を実施。上位3名を合格としたい。居住環境学専攻は、募集人員4名に対し、志願者13名。小論文と面接を実施。上位4名を合格としたい。食健康環境学専攻は、募集人員4名に対し、志願者18名。小論文と面接を実施。上位4名を合格としたい。」との説明があった。

総合管理学部長から、「総合管理学科は、募集人員50名に対し、志願者91名。総合試験問題と面接を実施。上位50名を合格としたい。」との説明があった。

2) 農業・林業・水産科学校推薦型選抜

環境共生学部長から「募集人員若干名に対し、志願者1名。試験の結果、合格にしたい。」との説明があった。

3) くまもと夢実現学校推薦型選抜

副学長から「募集人員若干名に対し、志願者1名。文学部日本語日本文学科を志願。試験の結果、合格にしたい。」との説明があった。

4) 社会人選抜

環境共生学部長から「募集人員若干名に対し、居住環境学専攻に志願者1名。食健康環境学専攻に1名。試験の結果、1名を合格、1名を不合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② アドミネストレーション研究科長及び総合管理学部総合管理学科情報部門長の選考について

学長から資料2に基づき「アドミネストレーション研究科長の欠員等に伴い、関係規程及び学内規程により現情報部門長をアドミネストレーション研究科長に、欠員が生じた情報部門長に総合管理学部森山賀文教授を選考したので、審議をお願いするもの。任期は前任者の残存期間である令和6年3月31日までとなる。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 教員の採用について

事務局総務課から資料3-1に基づき、教員の採用について採用予定者、採用科目、採用予定日及びこれまでの審査の経過等について説明があった。

続いて、関係学部として環境共生学部長から資料3-2に基づき、学部審査状況と推薦内容及び採用者の業績について説明があった。

最後に、学長から資料3-3に基づき、全学資格審査委員会における職位についての審査結果の報告があり、採用について審議が諮られた。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 教員採用に係る枠取りについて

1) ベンチャービジネス論

総合管理学部長から資料4-1に基づき「総合管理学部において、新規にベンチャービジネス論について枠取りを行う。学問の面から、大企業と異なり、中小企業では企業戦略からマーケティング、人的資源管理まで、幅広い領域を総合的かつ集中的に捉えた経営が行われるため、理論的考察だけでなく、具体的な事例を含む最新の状況をも考慮した教育研究が望まれる。職位は広く教授、准教授又は助教とする。ご審議をお願いしたい。」と説明があった。

2) 経営組織論

同じく総合管理学部長から資料4-2に基づき「総合管理学部において、新規に経営組織論について枠取りを行う。経営組織論は企業経営における組織体について、社会学や心理学、経済学など、多様な学問領域の考え方を利用して捉えていく、学部の中核であるマネジメントの柱ともいえる分野である。また、民間、公的機関を問わず組織体に就職する学生にとって、必要不可欠であると考え。職位は教授又は准教授とする。ご審議をお願いしたい。」と説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑤ 教員の昇任人事について

事務局総務課から資料5-1に基づき、「環境共生学部から1名、総合管理学部から1名、共通教育センターから2名、それぞれ准教授から教授へ、総合管理学部1名講師から准教授へ昇任について、審議いただきたい。」と説明があった。

続いて、資料5-2に基づき、全学資格審査委員会の委員長である学長から11月7日に各学部長、共通教育センター長からの推薦に基づき、審査を行い、昇任が適当であると承認した旨の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑥ 令和5年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から資料6-1、6-2に基づき、「令和5年度の非常勤講師の採用について、継続採用分は本学において十分な実績を、新規採用分は担当教員、各学部等で審査を踏まえ、推薦がありましたので、審議いただきたい。なお、採用については今回例年の半数から6割程度の方について提出いただいた。残りの科目については、あと2回程度の審議をお願いし、年度末までの採用を予定している。」と説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 令和4年度非常勤講師の採用（追加分）について

事務局教務入試課から資料7-1、7-2に基づき、「令和4年度後学期実施の総合管理学部開講科目について、1科目は現非常勤講師の科目追加、もう1科目は新たな非常勤講師の採用が必要となりました。学部長から推薦があり、すでに採用しましたのでご報告します。」と説明があった。

4 その他

次回日程 令和4年度（2022年度）第11回 12月19日（月）は中止

次々回日程 令和4年度（2022年度）第12回 1月23日（月）

午後2時30分～ 本部棟2階 大会議室

5 閉会